

これまでの実施実績と派遣アーティスト

平成16年度 熊本セッション

弦楽四重奏  
ピアノトリオ  
OGTS 室内合奏団(木管ピアノ四重奏)

平成17年度 沖縄セッション

Quartet SPIRITUS(サクソフォン四重奏)  
DUHA(木管五重奏)  
ティーダ(弦楽四重奏)

平成18年度 宮城セッション

ピアノトリオ・ミュゼ  
Quintet「H」(木管五重奏)  
Quartet Nats(弦楽四重奏)

平成19年度(前期)青森セッション

Sirius(ピアノトリオ)  
ポロゴ(木管五重奏)  
カルテット リベルテ(弦楽四重奏)

平成19年度(後期)富山セッション

トリオ・エトワール(ピアノトリオ)  
BrassSoul(金管五重奏)  
カルテット・ゼーレ(弦楽四重奏)

平成20年度(前期)岡山セッション

トリオ・アルティカ(ピアノトリオ)  
アルモニューズ カルテット(弦楽四重奏)  
木管五重奏団 MINTO(木管五重奏)

平成20年度(後期)高知セッション

トリオZEN(ピアノトリオ)  
わくわくカルテット(弦楽四重奏)  
Quatuor B(サクソフォン四重奏)

平成21年度 徳島セッション

Trio Blanc(ピアノトリオ)  
木管五重奏団notre coeur-ノートル クール(木管五重奏)

平成21・22年度 京都セッション

Piano Trio・Triangle(ピアノトリオ)  
STRING QUARTET EARTH(弦楽四重奏)  
Saxophone Quartet 桜(サクソフォン四重奏)

平成22・23年度 滋賀セッション

ブリマ・ヴェーラ(ピアノトリオ)  
カルテットひかり(弦楽四重奏)  
Brass Quintet"5 Bells"(金管五重奏)

平成22・23年度 和歌山セッション

ゼッパール・トリオ(ピアノトリオ)  
カルテットNKB(弦楽四重奏)  
Caprice(木管五重奏)

平成23・24年度 鹿児島セッション

マルシェ弦楽四重奏団(弦楽四重奏)  
アンサンブル・ミクスト(木管五重奏)

平成25・26年度 島根セッション

ピアノトリオオーレ(ピアノトリオ)  
アーバン・サクソフォン・カルテット(サクソフォン四重奏)

平成26・27年度 岐阜セッション

ピアノトリオLinon(ピアノトリオ)  
グランツ弦楽四重奏団(弦楽四重奏)  
Franc 木管五重奏団(木管五重奏)

平成27・28年度 広島セッション

トリオ・ノート(ピアノトリオ)  
ピエーレ弦楽四重奏団(弦楽四重奏)  
Lumie Saxophone Quartet(サクソフォン四重奏)

平成28・29年度 愛知セッション

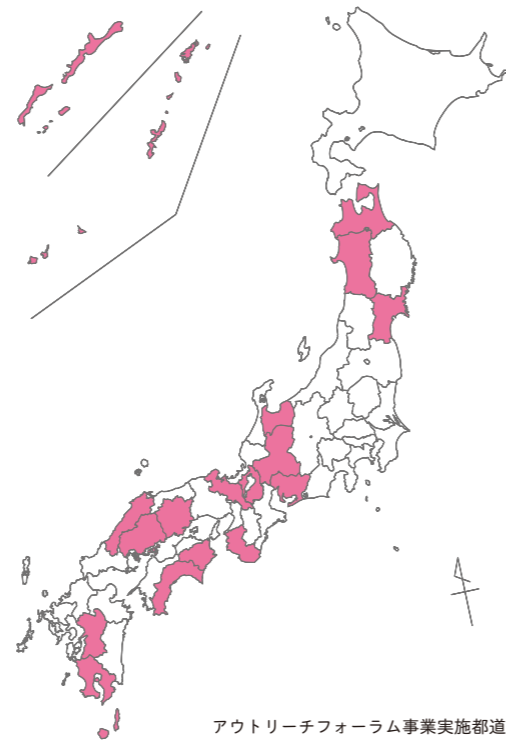
Les Vents Japonais(木管五重奏)  
Adam(サクソフォン四重奏)  
Trio Minpia(ピアノトリオ)

平成29・30年度 鹿児島セッション

トリオ・リラ(ピアノトリオ)  
Glück Saxophone Quartet(サクソフォン四重奏)

平成30・31年度 秋田セッション

※派遣アーティスト募集中



# 平成 31-32 年度 公共ホール音楽活性化 アウトリーチフォーラム事業

## 実施団体募集



人材の育成

ネットワークづくり

ノウハウの蓄積

公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業は、都道府県、アーティスト、コーディネーターが一体となってアウトリーチのプログラムをつくり、地域での演奏活動を通して、創造性豊かな地域づくりを目指す事業です。

申込締切  
平成30年  
8月31日(金)

お問い合わせ

一般財団法人地域創造

〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11オリックス赤坂2丁目ビル9階  
tel:03-5573-4069 fax:03-5573-4060  
E-mail:m.yamazui@jafra.or.jp 担当:芸術環境部 山居・菊地

制作協力:一般社団法人日本クラシック音楽事業協会



一般財団法人 地域創造  
Japan Foundation for  
Regional Art-Activities

一般財団法人地域創造とは  
地方公共団体が中心となり、自治大臣(現総務大臣)の認可を受けて設立された法人で、地域に根差した文化・芸術活動をサポートするために、全国の地方公共団体に対する財政支援、研修交流、情報提供、調査研究など様々な事業を展開しています。公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業もこれらの事業の一環として実施しているものです。



一般財団法人 地域創造  
Japan Foundation for  
Regional Art-Activities

詳細は平成31-32年度公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業実施要綱をご参照ください。

一般財団法人地域創造ウェブサイト <http://www.jafra.or.jp/>

[トップページ](#) → [各種申請はこちら「様式箱」](#)



平成31-32年度

# 公共ホール音楽活性化 アウトリーチフォーラム事業 事業の概要

都道府県等と地域創造との共催により、公共ホール等を拠点としたクラシック音楽の演奏家による地域交流プログラム事業やコンサートを実施します。本事業を通じて、都道府県等にアウトリーチの手法及び事業展開のノウハウを提供し、都道府県等と市町村のネットワークづくりや人材の育成を支援します。

## 実施要項(概要)

### ●対象団体

- ①都道府県
- ②都道府県の公共ホールの指定管理者など
- ③文化・芸術活動の振興に資する目的で設立された公益財団法人等で都道府県が出資しているもの

### ●支援内容

- ①演奏家派遣経費  
(出演料、交通費※、宿泊費、楽器運搬費※など)※一部対象外あり
- ②事業経費の一部負担  
(都道府県等に2か年で50万円限度、市町村1団体あたり5万円限度、ピアノ調律費)
- ③コーディネーター等の専門家派遣

### ●事業内容

都道府県等が主体となり、以下のプログラムを2か年で実施する。

#### 研修事業

- ①シンポジウム・セミナー等  
文化行政担当者等を対象としたアウトリーチへの理解を深めるプログラム
- ②全体研修会  
市町村公演実施団体を対象とした説明会
- ③アウトリーチ研修  
派遣演奏家を対象としたアウトリーチプログラム作りの研修および実演

#### 市町村公演事業

以下のプログラムを4又は6市町村で実施する。

- ①地域交流プログラム  
学校や福祉施設等でアウトリーチを原則6回(1日につき2回)実施する。
- ②コンサート  
公共ホール等で有料のクラシック音楽演奏会を1回実施する。

#### 総括公演プログラム

都道府県等の公共ホールで有料クラシック音楽演奏会を1回実施する。



## よくあるご質問

### ●アウトリーチとは何ですか？

アウトリーチはもともと①手を伸ばすこと、②地域社会への奉仕、援助、福祉活動等の意味があります。1990年代後半から、日頃、文化・芸術に触れることの少ない住民に対して文化・芸術を体験できる機会を提供する事業の名前として定着してきました。

### ●どんなネットワークが構築できますか？

都道府県等と市町村との連携、また、演奏家やコーディネーターなど専門家等とのネットワークが構築できます。

### ●どんなノウハウが蓄積されますか？

アウトリーチの手法やコンサート企画、制作手法等のノウハウを得ることができます。

### ●人材の育成ってどんなこと？

アウトリーチを活用した街づくりを推進できるよう専門家を派遣します。この事業を経験することにより、地域における芸術活動を担う人材の育成が期待できます。

### ●派遣される演奏家はどのように決まるの？

地域創造が全国の新進気鋭の若手演奏家(アンサンブル2~3組)を募集・選考し、決定します。

### ●コーディネーターにはどのような役割がありますか？

コーディネーターはアウトリーチやコンサート等の実施・企画経験が豊富であり、かつ公共ホールの実状に詳しい専門家です。事業を円滑に進めるため、企画・制作への助言や調整を行います。

### ●主催団体としてやるべきことは？

主催団体(都道府県等)は、2か年で研修事業、総括公演プログラムの実施、公演事業実施市町村の選定などを行います。共催団体(地域創造)は演奏家や専門家を派遣するほか、事業実施に際して様々な支援、助言を行います。

### ●予算措置は必要ですか？

地域創造からの負担金は各年度、実績報告書の提出をもって確定・交付されます。負担金の対象経費は、①音楽・文芸費、②舞台・会場費、③旅費交通費、諸謝金、④印刷製本費、⑤消耗品費、⑥その他です。

### ●申請の事務手続きはどのような流れで行われますか？

事務手続きは次のような手順で行われます。



### ●コンサートは無料でもいいのですか？

都道府県等および市町村の実施するコンサートの入場料は原則有料とし、入場料収入は各実施団体に帰属します。